



clear mac-address-table から flowcontrol まで

- [clear mac-address-table](#), 2 ページ
- [clear pagp](#), 8 ページ
- [clear vtp counters](#), 10 ページ
- [flowcontrol](#), 11 ページ

clear mac-address-table

指定したアドレス（または一連のアドレス）を MAC アドレス テーブルから削除するには、特権 EXEC モードで **clear mac-address-table** コマンドを使用します。

Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズ ルータの使用

clear mac-address-table [**dynamic**| **restricted static**| **permanent**] [**address mac-address**] [**interface type module port**]

clear mac-address-table notification mac-move counter [*vlan*]

clear mac-address-table dynamic [**address mac-address**] **interface interface-type interface-number**| **vlan vlan-id**]

構文の説明

dynamic	(任意) ダイナミックアドレスだけをクリアします。
secure	(任意) セキュアアドレスだけをクリアします。
static	(任意) スタティックアドレスだけをクリアします。
restricted static	(任意) 制限付きスタティックアドレスだけをクリアします。
permanent	(任意) 永久アドレスだけをクリアします。
address	(任意) 指定したアドレスだけをクリアします。
<i>mac -address</i>	(任意) MAC アドレスを指定します。
interface	(任意) あるインターフェイスのすべてのアドレスをクリアします。
<i>type</i>	(任意) インターフェイスタイプ (ethernet、fastethernet、fddi、atm、または port channel のいずれか)。
<i>slot</i>	(任意) モジュールインターフェイス番号。

<i>interface-type interface-number</i>	(任意) モジュールおよびポート番号。有効値については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
notification mac-move counter	MAC 移動通知カウンタをクリアします。
<i>vlan</i>	(任意) VLAN を指定して MAC 移動通知カウンタをクリアします。
protocol assigned	(任意) DECnet、Banyan VINES、および AppleTalk などの割り当てられたプロトコルアカウントを指定します。
protocol ip ipx	(任意) クリアするエントリのプロトコルタイプを指定します。
protocol other	(任意) クリアするエントリのプロトコルタイプ (IP または IPX 以外) を指定します。
vlan <i>vlan-id</i>	(任意) VLANID を指定します。有効値の範囲は 1 ~ 4094 です。
<i>module</i>	(任意) 次のモジュールインターフェイス番号を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 : 固定 • 1 または A : モジュール A • 2 または B : モジュール B

<i>port</i>	<p>(任意)</p> <p>Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズ ルータ :</p> <p>使用しているイーサネットスイッチネットワークモジュールのタイプに基づくポートインターフェイス番号範囲。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NM-16ESW の場合は 0 ~ 15 • NM-36ESW の場合は 0 ~ 35 • Gigabit Ethernet の場合は 0 ~ 1 <p>Catalyst スイッチ</p> <p>1 ~ 28 の範囲のポートインターフェイス番号。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イーサネット (固定) の場合は 1 ~ 25 • ファストイーサネット (固定) の場合は 26 または 27 • ポートチャネル
-------------	--

コマンドデフォルト

Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズ ルータの使用設定を行っているルータのすべての MAC アドレスがクリアされます。

Catalyst スイッチの使用

ダイナミック アドレスがクリアされます。

ダイナミック アドレスのクリア

このコマンドには、このモードでのデフォルトはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(2)XT	このコマンドが Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズ ルータに導入されました。
12.2(8)T	このコマンドが、Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズ ルータの Cisco IOS Release 12.2(8)T に統合されました。

リリース	変更内容
12.2(11)T	このコマンドが Cisco IOS Release 12.2(11)T に統合されました。
12.2(14)SX	このコマンドのサポートが Supervisor Engine 720 に追加されました。
12.2(17d)SXB	Supervisor Engine 2 上のこのコマンドのサポートが Cisco IOS Release 12.2(17d)SXB に拡張されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(33)SXI	このコマンドは、 notificationmac-movecounter [vlan] キーワードおよび引数を追加するように変更されました。

使用上のガイドライン Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズルータの使用

clearmac-address-table コマンドをオプションなしで実行すると、すべての MAC アドレスが削除されます。アドレスを指定してインターフェイスを指定しないと、すべてのインターフェイスからアドレスが削除されます。インターフェイスを指定してアドレスを指定しないと、指定したインターフェイス上のすべてのアドレスが削除されます。

Catalyst スイッチの使用

clearmac-address-table コマンドをオプションなしで実行すると、すべてのダイナミックアドレスが削除されます。アドレスを指定してインターフェイスを指定しないと、すべてのインターフェイスからアドレスが削除されます。インターフェイスを指定してアドレスを指定しないと、指定したインターフェイス上のすべてのアドレスが削除されます。

対象のアドレスが MAC 転送テーブルに存在しない場合、次のエラーメッセージが表示されます。

```
MAC address not found
```

ダイナミック アドレスのクリア

interface 引数の有効値には、Supervisor Engine 2 が搭載された Cisco 7600 シリーズルータでサポートされる **ge-wan**、**atm**、および **pos** キーワードが含まれます。

protocol {assigned | ip | ipx | other} キーワードは、Supervisor Engine 2 が搭載された Cisco 7600 シリーズルータでだけサポートされます。

すべてのダイナミック エントリをテーブルから削除するには、**clearmac-address-tabledynamic** コマンドを入力します。

interface-type で有効な値は次のとおりです。

- fastethernet
- gigabitethernet
- port-channel

モジュールとポートの設定

interface-number 引数では、モジュールおよびポート番号を指定します。*interface-number* の有効な値は、指定するインターフェイスタイプと、使用するシャーシおよびモジュールによって異なります。たとえば、13 スロットシャーシに 48 ポート 10/100BASE-T イーサネット モジュールが搭載されている場合に、ギガビットイーサネットインターフェイスを指定すると、モジュール番号の有効値は 1 ~ 13、ポート番号の有効値は 1 ~ 48 になります。

例

Cisco 2600 シリーズ、Cisco 3600 シリーズ、および Cisco 3700 シリーズ ルータの使用

次に、MAC 転送テーブル内のすべてのダイナミック アドレスをクリアする例を示します。

```
Router# clear mac-address-table dynamic
```

次に、イーサネット ポート 1 上のスタティック アドレス 0040.C80A.2F07 をクリアする例を示します。

```
Router# clear mac-address-table static address 0040.C80A.2F07 interface ethernet 0/1
```

Catalyst スイッチの使用

次に、MAC 転送テーブル内のすべてのダイナミック アドレスをクリアする例を示します。

```
Router# clear mac-address-table dynamic
```

次に、特定の VLAN の MAC 移動通知カウンタをクリアする例を示します。

```
Router# clear mac-address-table notification mac-move counter 202
```

次に、イーサネット ポート 1 上で永久アドレス 0040.C80A.2F07 をクリアする例を示します。

```
Router# clear mac-address-table permanent address 0040.C80A.2F07 interface ethernet 0/1
```

Supervisor Engine 2 を使用した 7600 上でのダイナミック アドレスのクリア

次に、特定のインターフェイス (abc) およびプロトコルタイプ (IPX) のすべてのダイナミック レイヤ 2 エントリをクリアする例を示します。

```
Router# clear mac-address-table dynamic interface abc protocol ipx
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac -address-tableaging-time	スイッチで、ダイナミック MAC アドレスが廃棄される前にメモリに保持される時間の長さを設定します。
mac -address-tablepermanent	永久ユニキャストまたはマルチキャスト MAC アドレスを特定のスイッチポートインターフェイスに関連付けます。
mac -address-tablerestrictedstatic	制限付きスタティックアドレスを特定のスイッチ ポート インターフェイスに関連付けます。

コマンド	説明
mac -address-tablesecure	セキュアスタティックアドレスを特定のスイッチポートインターフェイスに関連付けます。
mac-address-table static	スタティックエントリをMACアドレステーブルに追加するか、IGMPスヌーピングをアドレスに対してディセーブルにしてスタティックMACアドレスを設定します。
show mac -address-table	スイッチポートまたはモジュールに対するMACアドレステーブルのアドレスを表示します。
show mac -address-tablesecure	アドレッシングセキュリティコンフィギュレーションを表示します。
show mac -address-tablesecurity	アドレッシングセキュリティコンフィギュレーションを表示します。

clear pagp

ポート チャネル情報をクリアするには、特権 EXEC モードで **clearpagp** コマンドを使用します。

clear pagp {*group-number*} **counters**}

構文の説明

<i>group-number</i>	チャンネルグループ番号。有効値は 1 ～ 256 の範囲の最大 64 個の値です。
counters	トラフィック フィルタをクリアします。

コマンド デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンド モード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。
12.2(17d)SXB	Supervisor Engine 2 上のこのコマンドのサポートが Release 12.2(17d)SXB に拡張されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。

例

次に、特定グループのポート チャネル情報をクリアする例を示します。

```
Router# clear pagp 324
```

次に、ポート チャネルトラフィック フィルタをクリアする例を示します。

```
Router# clear pagp counters
```

関連コマンド

コマンド	説明
show pagp	ポート チャネル情報を表示します。

clear vtp counters

VLAN トランク プロトコル (VTP) カウンタを削除するには、特権 EXEC モードで **clearvtpcounters** コマンドを使用します。

clear vtp counters

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
15.0(1)M	このコマンドは、Cisco IOS Release 15.0(1)M よりも前のリリースに導入されました。
12.2(33)SRE	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2(33)SRE よりも前のリリースに統合されました。
12.2(33)SXI	このコマンドは、Cisco IOS Release 12.2(33)SXI よりも前のリリースに統合されました。

例

次に、VTP カウンタをクリアする例を示します。

```
Router# clear vtp counters
```

関連コマンド

コマンド	説明
show vtp	VTP 管理ドメイン、ステータス、カウンタの一般情報を表示します。
vtp	グローバル VTP ステートを設定します。

flowcontrol

ポートがポーズフレームを送信または受信するよう設定するには、インターフェイス コンフィギュレーションモードで **flowcontrol** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

flowcontrol {send| receive} {desired| off| on}

no flowcontrol {send| receive} {desired| off| on}

構文の説明

send	ポートがポーズフレームを送信するよう指定します。
receive	ポートがポーズフレームを処理するよう指定します。
desired	リモートポートが on 、 off 、または desired のいずれに設定されていても、予測できる結果を得ます。
off	ローカルポートがリモートポートからポーズフレームを受信して処理したり、リモートポートにポーズフレームを送信したりできないようにします。
on	ローカルポートがリモートポートからポーズフレームを受信して処理したり、リモートポートにポーズフレームを送信したりできるようにします。

コマンド デフォルト

フロー制御はディセーブルです。

フロー制御のデフォルト値は、ポートの速度によって異なります。デフォルトの設定は次のとおりです。

- ギガビットイーサネットポートのデフォルトは、受信については **off** で、送信については **desired** です。
- ファストイーサネットポートのデフォルトは、受信については **off** で、送信については **on** です。
- 24ポート 100BASE-FX モジュールおよび 48ポート 10/100 BASE-TX RJ-45 モジュールのデフォルトは、受信についても送信についても **off** です。

- WS-X6502-10GE 10 ギガビットイーサネットポートのポーズフレームに対する応答は設定できません。WS-X6502-10GE 10 ギガビットイーサネットポートは常にポーズフレームに反応するように設定されています。

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション (config-if)

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(14)SX	このコマンドが Supervisor Engine 720 に導入されました。
12.2(17d)SXB	このコマンドが Supervisor Engine 2 に追加されました。
12.2(33)SRA	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SRA に統合されました。
12.2(33)SCB	このコマンドが、Cisco IOS Release 12.2(33)SCB に統合されました。

使用上のガイドライン

send および **desired** のキーワードをサポートするのはギガビットイーサネットポートだけです。

ポーズフレームは、バッファが満杯であるために特定の期間フレームの送信を停止する信号を送信元を送る特殊なパケットです。

Catalyst 6500 シリーズ スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータのギガビットイーサネットポートはフロー制御を使用して、一定時間、ポートへのパケットの伝送を禁止します。その他のイーサネットポートは、フロー制御を使用してフロー制御要求に応答します。

ギガビットイーサネットポートの受信バッファが満杯になると、指定された時間中、パケットの送信を遅らせるようにリモートポートに要求する「ポーズ」パケットが送信されます。すべてのイーサネットポート（1000 Mbps、100 Mbps、および 10 Mbps）は、他の装置から「ポーズ」パケットを受信し、これに応答できます。

ギガビットイーサネット以外のポートを、受信したポーズフレームを無視したり（**disable**）、対応したり（**enable**）するように設定できます。

receive キーワードを使用すると、**on** および **desired** のキーワードの結果は同一になります。

Catalyst 6500 シリーズ スイッチおよび Cisco 7600 シリーズ ルータ上のすべてのギガビットイーサネットポートは、リモート装置からのポーズフレームを受信および処理できます。

予測できる結果を得るには、次の注意事項に従います。

- **sendon** は、リモートポートが **receiveon** または **receivedesired** に設定されている場合にだけ使用します。

- **sendoff** は、リモート ポートが **receiveoff** または **receivedesired** に設定されている場合にだけ使用します。
- **receiveon** は、リモート ポートが **sendon** または **senddesired** に設定されている場合にだけ使用します。
- **sendoff** は、リモート ポートが **receiveoff** または **receivedesired** に設定されている場合にだけ使用します。

例

次に、ローカルポートがリモートポートによるいかなるレベルのフロー制御もサポートしないよう設定する例を示します。

```
Router# configure terminal
Router(config)# interface GigabitEthernet1/9 10.4.9.157 255.255.255.0
Router(config-if)# flowcontrol receive off
Router(config-if)# flowcontrol send off
```

関連コマンド

コマンド	説明
show interfaces flowcontrol	フロー制御情報を表示します。

